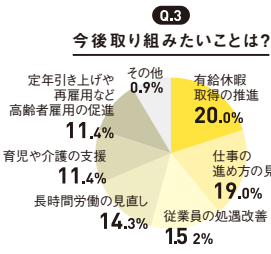
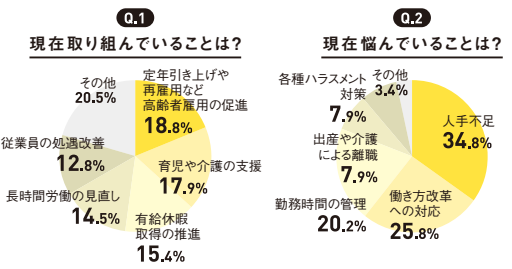


QUESTION



アンケートから見てきた、職場環境の実態。

セミナーに参加した方々の悩みのトップは人手不足。これから新たな労働力として期待されている子育て世代の女性や高齢者の働き方が、課題解決のための鍵となりそうだ。

セミナー参加企業に訊いた働きやすい職場づくり、現状と取り組みは？

SEMINAR 講演

人材不足に対応！ 法から学ぶ女性と高齢者が活躍できる職場づくり

師は特定社会保険労務士の高橋さん。自らも育児休業を経験し、復職過程で直面した職場環境の現状について考えるうちに関心が高まり、現職の専門知識を学んだという経歴の持ち主。

女性雇用と高齢者雇用に関する法制度やそれら知識について易しく解説するとともに、雇用された際のメリットについても触れられた講演内容となった。「両立支援や継続雇用制度づくりは、固定観念にとらわれず、できない理由ではなく、できる方法を考えることが重要です。」



平成30年9月に山形市内で開かれた「山形県働き方マッチングセミナー」の様子。講演や事例紹介にメモを取りながら熱心に聞き入る参加者たち。

働く側、雇う側、より良い関係を築くために。いま求められている働き方についてちょっと考えてみませんか。

時代に合わせた働き方を考える機会に

仕事や生活様式が多様化した現代社会において、働き方や職場環境づくりもそれに準じた柔軟性が求められている。雇用する側も働く側も、従来の就業スタイルだけにとらわれず、環境の変化に応じた就業制度の整備や、雇用形態といった働き方を見直す時期にきている。

そこで本ページでは、山形県商工労働部雇用対策課が平成30年度に実施した事業を振り返りながら、県内企業が抱える課題を整理し、さらには先進的に取り組む企業を紹介しながら、働き方を考える機会とした。

今年度は講演とセミナー、見学会が実施された

まず最初に、「山形県働き方マッチングセミナー」の様子から。主に経営者や企業の人事担当者が足を運んだこの会は、予定していた定員を上回る60名が集い、関心の高さを物語っていた。また「職場見学会」では、働きやすさを叶える職場づくりのポイントが見えてきた。

柔軟な働き方を考える

できることから始めたい

SEMINAR 事例1

「子育てなど、働く人の事情に合わせた柔軟な働き方について」

働きやすい職場づくりを行なっている県内企業の代表として、山形市のミドリオートレザーク株式会社から総務部長の加勢さんが登壇。「法定以上のことはしていません」と前置きしつつも、5年ほど前から労働局の指導のもと雇用制度の見直しを進めてきたという。特に育児・介護制度の利用状況が紹介されたページでは、平成28年1月～30年8月の期間中に育児を取得した人の数が、女性19名に加え男性も5名いたという点に

注目が集まった。復職までに要した期間は女性が平均1年と30日、男性が60日超と、その長さからも積極的に取得を推奨する企業姿勢が伺える。

加勢さんは「ワーク・ライフ・バランスは、トップの理解と社員間のお互い様精神のおかげ」と強調していた。



SEMINAR 事例2

「働き続けられる職場へ。高齢者継続雇用の取組みについて」

沢市の株式会社エービーエムからは、企画・人事部長の田口さんが高齢者継続雇用企業としての実績を紹介。「当社は従業員数およそ280名のうち100名強が60歳以上。平成30年4月には定年後の継続雇用に69歳まで延長し、健康であれば70代でも受け入れております。実際70代の従業員は現在6名在籍中で、業務に精通した高スキル、後進指導がスムーズな点、勤勉さといったメリットがあると感じています」とのこと。

と。一方で、「体調や家族状況などから休みが増える面があり、代替要員の確保や健康維持管理への配慮も必要です」とも長く働き続けられるようモチベーションアップのための仕組みを設けたり、再雇用を推進するなど、さらなる雇用整備にも意欲的だ。



実際に働きやすいのはどんな環境なのか、見学してみました。

TOUR

子育てママを集めた「職場見学会を実施」

再就職を目指している子育て中の女性たちが見学訪問したのは、山形市清住町にある株式会社ニフコ山形。生活に密着したさまざまな樹脂製品を作っている製造メーカーで、パートでもフルタイムでも、それぞれのライフスタイルに合わせた働き方が選べるほか、提携保育所もあり、子育て世代の女性が多く活躍している企業だ。

説明を担当してくれた伊藤課長は、「急な休みなどにはできる限り対応し、働きやすい職場環境を目指しています」と話すなか、見学会参加者からは「仕事と家庭の両立を目指す子育ての時期は、決まった時間で働く製造業という選択もあり」との声が聞かれた。



衣料品のパックルや身近にある日用品など、ニフコ山形で作られている製品はおよそ1500種にもなる。

